

郷土資料館特別展

むかしの道具「なつかしの音」

現在、私たちは気軽に音を楽しめます。スイッチを入れると、ラジオはニュースや音楽番組を、CDやMDは好きな音楽を聞かせてくれます。

しかし昔は、ラジオの番組は音楽などの娯楽が少なく、蓄音機は1曲毎にゼンマイを巻く必要があるなど、今と比べるととても不便に思われます。

今回の郷土資料館特別展では、むかしの道具から“音”について焦点を当て、ラジオや蓄音機等の展示や、歴史の紹介をしていきます。

